

令和3年度 職員向け 事業所自己評価 結果

(7名に配布。回答有り7)

	チェック項目	はい	どちらとも いえ	いいえ	わから ない	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制 整備	1 利用定員が指導訓練室等のスペースとの関係で適切であるか。	4	3			<ul style="list-style-type: none"> 子どもたちの体型が大きく成長しているため、食事の際は部屋を分けるなど密にならないように工夫をしている。 個別支援を要する際に、個室などの場所がない。 各日の利用者や活動内容によっては手狭に感じる。
	2 職員の配置数は適切であるか。 職員1人に対し、利用者2人を超えることはない。	6	1			<ul style="list-style-type: none"> 子どもの状態によっては、配置数だけでは足りないこともあり得る。逆もある。 規定は満たしているが、利用者の要求に応える個別対応ができるかが疑問。
業務 改善	3 業務改善を進めるための、PDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6	1			<ul style="list-style-type: none"> 週に1回のスタッフ会議等で改善策の提案や、取り組みの方向性を確認して、日々の業務に反映している。
	4 保護者向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか。	7				
	5 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか。	7				
	6 職員の資質向上を行うために、研修の機会を確保しているか。	4	3			<ul style="list-style-type: none"> 研修の実施日を年間の計画に組み込み、見直しをもった研修の充実を図りたい。 スタッフ会議の中で適宜研修的な内容も取り上げているが、さらに充実させていく必要はあると思う。
	7 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7				<ul style="list-style-type: none"> モニタリングや面談など、計画的・継続的に実施し、ニーズの把握や支援の具体をサービスの計画に組み込んでいる。
	8 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか。	6	1			<ul style="list-style-type: none"> 個々の状況に応じたアセスメントツールの効果や適性の分析が必要である。
9 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	1		1		
10 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	1			<ul style="list-style-type: none"> 工夫はされているが、スタッフから様々な提案があってもいい。 	
11 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか。	6	1			<ul style="list-style-type: none"> 長期休業中は個々の課題を明確にして適切な支援をしている。平日は、時間が短く、十分な支援ができない時がある。 	
12 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7					

適切な支援の提供	13	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか。	4	3			<ul style="list-style-type: none"> ・時間がとれないこともあるが極力出来るようにしている。 ・毎朝の打ち合わせで、気になることやその日の活動の確認などを行っている。 ・長期休業時の計画は把握しやすいが、平日のプログラムの進め方等が共有されていないときがある。 ・開始前に打ち合わせの時間がとれないこともあり、内容が伝わっていないこともある。
	14	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	1	6	1		<ul style="list-style-type: none"> ・全員で行うことは厳しいができる限り行っている。 ・その日にできないときは、翌日に確認している。 ・終了後は時間がとれないことが多い。 ・時間を区切った形で打ち合わせを設けてはいないが、必用に応じて職員間で情報共有や意見交換の機会を設けている。
	15	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4	2		1	<ul style="list-style-type: none"> ・記録はとっているが、支援の検証につながっているかは分からない。 ・支援の検証・改善によりつながるような記録の取り方を検討していきたい。
	16	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか。	6	1			
	17	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせで支援を行っているか。	6			1	
関係機関や保護者との連携	18	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6	1			<ul style="list-style-type: none"> ・学校とは下校時刻の連絡にとどまっている面があり、もう少し子どもの様子について情報交換できるようにしたい。そうした意味で、二人の子の学級担任や保護者と共通の連絡帳をスタートさせることができたことは、大変良かったと思う。
	19	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	4	2		1	
	20	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか。					
	21	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか。		1	6		<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍のため控えている。
	22	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。		1	4	2	
	23	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7				<ul style="list-style-type: none"> ・常に連携を図り、子どもや保護者に寄り添った支援をしている。
24	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレントトレーニング等の支援を行っているか。	3	2		2	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭訪問を取り入れている。 	

保護者への説明責任等	25	運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	1				
	26	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	7				<ul style="list-style-type: none"> ・モニタリング、事業所内相談、電話等で丁寧に相談にのっている。チームとしてケース検討会を開き、対応を進展化していくことも必要である。 ・児発管を中心に、事業所内相談や家庭訪問、送迎時の会話などで保護者の相談に丁寧に応じていると思う。 	
	27	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか。		2	5			<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルスにより難しい状況。
	28	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7					
	29	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	7					<ul style="list-style-type: none"> ・ゆうゆうだより、HPで取り組みを発信している。
	30	個人情報に十分注意しているか。	7					
	31	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7					
	32	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか。	5		2			<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルスにより地域の方々を招くことは難しい状況。 ・招待はできないが、地域のゴミ拾いをしたり、事業所で育てた花の種を配ったりしている。
非常時等の対応	33	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか。	4	3				<ul style="list-style-type: none"> ・今年度は避難計画や事業継続計画の策定を進めており、特に必要な部分について、今後周知を図っていきたいと考えている。
	34	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7					
	35	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。						
	36	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか。	2	3	1	1		